提　案　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和６年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |
| 所在地 |  |
| 代表者名 | （職名）　　　　　　　　　（） |
| サウンディング担当者 | 部署 |  |
| 役職・氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |

　アジア・太平洋農村研修センターの利活用方法に関するサウンディング型市場調査について、以下のとおり提案します。また、応募者要件確認のため関係省庁への照会を行うことを承諾します。

■　提案する事業の施設名：アジア・太平洋農村研修センター

１　利活用方法について

1. 必須要件

地域と連携し，エリアとして一体的な視点をもって地域に寄与すること

1. ①を実現するにあたって好ましい付加機能
2. 地域交流ができるスペースの一時開放など定期的な地域イベントの開催が可能な　機能
3. 隣接する民族館（鹿屋市所有）との一体的な利用を想定した機能

**※項目毎の枠のサイズは，自由に変更して御記入ください。**

**※必要な項目すべての記載があれば，当該様式以外による提出も可能です。**

【具体的な提案】

|  |
| --- |
| ①事業スキーム概要（提案内容）　 |
| ②事業方式の想定 |
| ③事業期間の想定 |
| ④事業収支の想定 |
| ⑤地域の魅力アップに資する事業 |
| ⑥地域への貢献と関わり方 |
| ⑦事業に当たっての県への要望 |

【対象不動産に対する一般的な評価】

|  |
| --- |
| ①対象不動産の優位性や潜在的可能性 |
| ②事業推進・施設運営にあたって課題となる点，問題点 |

２　売却による取得の可能性について

・購入するに当たって支障があるか

|  |
| --- |
|  |

※この申込書は、令和６年10月31日（木）までに、電子メールにて提出してください。